

# 夢を、そびけ!

舞う  
真夏の夜に「桜雪Ma-u」



8月4日、対馬に新しい「元気」が誕生しました。その名は、

よさこいチーム「桜雪Ma-u」

彼女たちの躍動と夜空に響く対馬の方言は、まさに「対馬で生きる“誇り”」を体現。

今回の「対馬で生きる 対馬をつなぐ」は、対馬巖原港まつりの新たな取り組みにスポットを当てます。



「よさこい」で、対馬に  
元氣と笑顔を

「対馬の桜の季節も雪の季節も、一年中ひらひらと舞い踊りたい...。」

このチーム名には私たちメンバーのそんな願いを込めました。下は5歳から上は70代まで、約40人で活動しています。よさこいを始めてよかったです。まず、よさこいを通じていろいろな方と出逢えること。世代を超えて仲間と感動の共有ができること。そして何より対馬オリジナルの曲で楽しく踊れるということです。

桜雪Ma-uのお披露目は最高に楽しいステージになりました。皆様の声援もあり、心から盛り上がったのが嬉しかったですね。これから対馬の中でいろんな「よさこいチーム」ができて、より多くの交流をもち、さらに大きな輪になるよう頑張っていきます。

子どもたちが島を出ても、この唄を聞けば対馬を思い出す、「よさこい」で対馬中に笑顔が溢れることが私たちの願いです。



よさこい対馬チーム

桜雪Ma-uリーダー

長瀬美三子さん



太鼓で支援した『佐須響心会』



よさこい対馬プロデューサー

対馬市役所 観光物産推進本部

阿比留 正臣さん

構想から1年、念願の初舞台

ちょうど1年前、山口県下関で「よさこいチーム」下関馬関奇兵隊」のステージを目にした時、その元氣と楽しさ、交流の素晴らしさに心奪われました。帰りの飛行機の中では「対馬よさこい」の構想で頭の中がいつぱいになり、数日後には、長瀬さんに女性チームの立ち上げを相談し、上野芳喜さんに曲の提供を依頼しました。

しかし「お金がない!!」片っぱしから補助金にアタックするものの活動実績もなくすべて落選...。ならばと、募金付商品を知り合いなどに買ってもらい経費を調達。私たちの思いに共感してくれた港まつり振興会さんも予算の一部を支援してくださいました。よさこい振り付け師の、中村信幸さんにも協力していただき「夢のよさこい」が形になっていきました。

みんな「何かやりたい、楽しみたい、ハツラツと輝きたい」という同じ想いを持っていて、たまたま私が「やりますよー!」って大きな声を上げたら、指に止まってくれたんです。ありがたいことです。すでに学校などからも「文化祭や運動会に取り入れたい」という声もいただいています。

いつの日か市民総参加のお祭りになり、いろんなチームが競演する日がくれば嬉しいですね。

これからも対馬の元気をそびぎますよー!

実は「そびぎ唄」を、ヤフォクドームの5回裏にフィールドで踊るのが私の夢なんです。



振り付けの指導を受けるメンバー

『静』と『動』の2大イベントに

今年、仏像問題で港まつりのメインだった朝鮮通信使行列が中止になりました。ただ、対馬アリアン祭というサブタイトルをはずしたのは、来年の港まつり50周年にむけて『祭りを新たなスタイルに変革したい』という私たちの思いからでした。見て楽しむ港まつりに『動』を加えたかったです。

そんな矢先、桜雪Ma-uのプロデューサーである阿比留さんから話がかきとになりました。まだ知名度のないグループですから、本祭で一番人が集まる時間帯にセッティングして、市民の皆さんにお披露目したかったです。舞台袖で見ていた私も、新しい命が誕生したような感動で胸が熱くなりました。来年、朝鮮通信使行列が復活したら、敵かな歴史絵巻を楽しむ『静』と、全身で元気に舞う『動』のよさこいの2大イベントをお見せできるかもしれません。

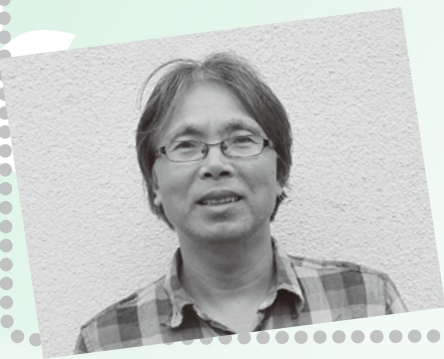
『参加したくて集まる』そんなまつりに育てていきたいですね。



敵原港まつり振興会 山本博己会長



そびき唄の産みの親 **上野 芳喜さん**



島の幸せを引っ張り込むような熱いステージ。観客の拍手を聞いた時は、目頭が熱くなりました。桜雪Ma-uさんの踊りは最高でしたね。早速、「CDを親戚に送りたい」と言って下さる方もいて感激しました。

この唄は全国に広く知られる「よさこいソーラン」を島の子どもたちが踊っているのを見たとき『対馬の曲で踊れたら、そして、対馬の方言をどこに行っても忘れないでほしい!』と思ったのが書き始めたきっかけです。海や山の神を尊び、自然の恵みを受け、大漁を願って村中で酒のみする漁師村の風景を思い浮かべながら、対馬で生きる覚悟、子どもたちと夢や希望を引き寄せる対馬人の力強さを大事にしました。

島の人たちに元気が届いたお披露目だったと思います。

そびき唄

海の中(なけ)

海の中に 網を放りなげれば

「トンゴロ」んそれん 飛ばし上がる

トンゴロ(魚の名前) 達が 飛び上がる

あんのうやトンビ こらしいち泣くな

あのねえトンビ 暇すぎだと泣くな

おっどん浜(はめえ) じき灯ん燈る

おれたちの浜に すぐに灯が燈る

まぐれに「ごつつおう」でかしてやなしこ飲もう

夕暮れに「ごちそう」作って たくさん飲もう

山んごて、どしん採れろち 子のそれおらべ

山のように、魚が採れると 子ども達叫べ

そびけ、そびけ、やんこも、やんこも 網そびけ

ひつばれ、ひつばれ、たくさん(力いっぱい) 網を引け

そびけ、そびけ、島ん幸 そびきぐろー

ひつばれ、ひつばれ、島の幸 引き合戦

桜雪Ma-u **和田 曜子さん**

親子3人で「よさこい」に夢中です。ずっとよさこいファンで、踊っている人たちが活き活きと笑顔でステージに立つ姿に憧れていたんです。『いつか対馬でよさこいを』という夢が叶い、今が一番充実しています。これからもイベントを控え、期待は広がるばかり。町を練り歩きたいし、島外にもアピールしたいですね。



作詞・作曲 上野 芳喜  
編曲 田川 ヒロアキ

**真奈さん(小4)**

お客さんの前でドキドキしたけど、かっこいい所をみてほしかったです。

**歩乃香さん(5歳)**

そびけそびけー♪のところが一番好きです。

よさこいチームをつくりませんか?

学校・職場・地域・友人など気の合う仲間とチームを作りませんか?

資金的な支援はできませんが、そびき唄・振り付けDVDの提供などいろいろなお手伝いをします。

来年の港まつりステージを目指しましょう!

対馬市役所観光物産推進本部

☎0920(53)6111 担当:阿比留 正臣

**藤田 優菜さん(中1)**

厳原港まつりとおっどん祭りではよさこいステージを観ました。

初めて聞いた曲はとても新鮮で印象に残ったし、踊りも全部がかっこよくてファンになりました。私もいつか踊ってみたいな。

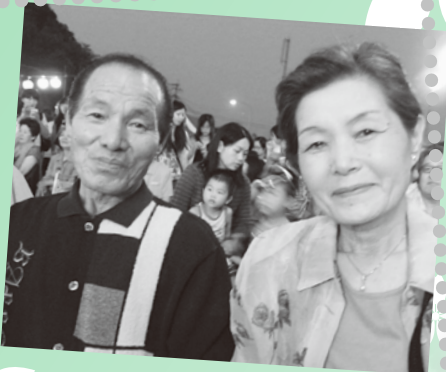






### 桜雪Ma-u 梅野 由美子さん

今年6月、職場を退職したのを機にメンバーに入りました。以前からよさこいに興味があったんですが、ちょっと最初は躊躇していたんですよ。でも入ってみると体を動かすのが楽しいし、新しい出会いもあり、初ステージは夢のようなひと時でした。正直、十数年は港まつりから遠のいていたんです…。主人も『よかったよ』って言ってくれました。何より『島の元気づくりに自分が参加できること』が嬉しいことです。



### 阿比留 恭孝さん・のり子さん

娘と孫が出ると聞いて観に来ました。力強い踊りに元気がでます！対馬よさこいがこれからどんどん盛り上がっていくことを願いますし、いろんなイベントに顔を出して欲しいです。対馬の方言もいいですね。



8月17日に行われたおっどん祭りでも披露

やけた磯に、はらかくな「ヤクマ」  
 やけた磯に怒るな「ヤクマ(ヤクマの塔のこと)」  
 時化んさんべー、ぼつなむな  
 時化の様子をなげくな  
 おっどん船は、こっぽうもんのそれやけ  
 俺たちの船は、荒くれもん達だから  
 ちゅうべい、いうような内地にや住みきらん  
 機嫌取りを言うような都会には住めない  
 まぐれに「いりやき」でんして、やまねこ飲もう  
 夕暮れに「いりやき(郷土料理)」でもして 山猫焼酎を飲もう  
 ひどきんてば かるうて 踊るばあさま言わせんばい  
 ひじき入れのカゴを背負って 踊る ばあさんは言わせないね  
 そびけ、そびけ、やんこも、やんこも 夢そびけ  
 ひつばれ、ひつばれ、力いっばい夢を引け  
 そびけ、そびけ、島ん幸 そびきぐろー  
 ひつばれ、ひつばれ、島の幸 引き合戦  
 そびけ、そびけ、やんこも、子のそれ 夢そびけ  
 ひつばれ、ひつばれ、力いっばい 子ども達 夢を引け  
 そびけ、そびけ、島ん幸 そびきぐろー  
 ひつばれ、ひつばれ、島の幸 引つ張り競争



インターネットサイトYou Tubeで聴くことができます。

そびき唄

検索

## ピンチをチャンスに！

国境の島である対馬を生き抜いてきた先人たちは、時代と向き合いながら、そして、時代を的確にとらえ「変化」してきたのではないのでしょうか？

「今までの概念をつき破り、一步踏み出すこと」

対馬を未来へ繋いでいくために、今、対馬人は時代に求められています。